

#### 4. 職員の意識改革と人材育成

|      |  |            |               |      |        |  |
|------|--|------------|---------------|------|--------|--|
| 担当課  | 職員研修室  | 改善項目       | (1)政策形成能力等の向上 |      |        |  |
| 改善内容 | 本市の職員資質向上の基本方針である「職員チャレンジ & アクションプラン」に基づき、地方分権の時代にふさわしい政策形成能力や政策法務能力に優れた人材の育成に努める。 | 改善プログラム    |               |      |        |  |
|      |  | 14年度       | 15年度          | 16年度 | 17年度以降 |  |
|      |  | 継続実施       |               |      | ▶      |  |
|      |  | 改善効果額計(千円) |               |      |        |  |

|      |   |            |                      |      |        |  |
|------|---|------------|----------------------|------|--------|--|
| 担当課  | 財務課<br>行政改革・中核市推進課  | 改善項目       | (2)行政改革推進のための誘導方策の検討 |      |        |  |
| 改善内容 | 節約努力に対するほう賞的意味合いとして予算残額を優先的に配分する制度の導入など、行政改革を推進するための誘導方策について検討し、職員の意識改革を促す。 | 改善プログラム    |                      |      |        |  |
|      |   | 14年度       | 15年度                 | 16年度 | 17年度以降 |  |
|      |   | 検討         | 検討・実施                |      |        |  |
|      |   | 改善効果額計(千円) |                      |      |        |  |

|      |  |            |               |          |        |  |
|------|--|------------|---------------|----------|--------|--|
| 担当課  | 消防総務課  | 改善項目       | (3)消防団員の研修の充実 |          |        |  |
| 改善内容 | 現在、消防団は災害防ぎょを中心とした活動を行っているが、火災予防啓発や自主防災訓練など平常時における活動を行い、災害に対する地域防災の向上に努めるため、消防団員に対し指導者としての研修を行う。 | 改善プログラム    |               |          |        |  |
|      |  | 14年度       | 15年度          | 16年度     | 17年度以降 |  |
|      |  | 検討         | 研修の実施         | 研修対象者の拡大 | 研修の継続  |  |
|      |  | 改善効果額計(千円) |               |          |        |  |

#### 5. 公社等外郭団体の見直し

|      |   |                             |                  |      |        |  |
|------|---|-----------------------------|------------------|------|--------|--|
| 担当課  | 事務管理課<br>行政改革・中核市推進課  | 改善項目                        | (1)公益法人等のあり方の見直し |      |        |  |
| 改善内容 | 市と法人が連携し、法人ごとの中長期的な経営計画を策定するとともに、具体的な改善策を検討、実施する。<br>各法人の中長期的な経営計画の策定<br>固有職員の交流システム、統合等の検討など | 改善プログラム                     |                  |      |        |  |
|      |   | 14年度                        | 15年度             | 16年度 | 17年度以降 |  |
|      |   | 経営計画の策定<br>職員の交流システム等の調査・検討 | 実施               |      |        |  |
|      |   | 改善効果額計(千円)                  |                  |      |        |  |

## 6. 健全財政の推進

| 担当課        | 契約課・工事担当課<br>土木計画課   | 改善項目 | (1)公共工事のコスト縮減 |      |      |        |
|------------|--|------|---------------|------|------|--------|
| 改善内容       | 公共工事コスト縮減行動計画(平成10年7月策定)に基づき、引き続きコスト縮減に努める。<br>工事の計画・設計等の見直し<br>工事の発注の効率化<br>工事構成要素のコスト縮減<br>工事実施段階での合理化、規制緩和等 |      | 改善プログラム       |      |      |        |
|            |  |      | 14年度          | 15年度 | 16年度 | 17年度以降 |
|            |  |      | 継続実施          |      |      | →      |
| 改善効果額計(千円) |  |      |               |      |      |        |

| 担当課        | 収納担当課   | 改善項目 | (2)市税等歳入の確保対策 |         |         |         |
|------------|---|------|---------------|---------|---------|---------|
| 改善内容       | 市税、国民健康保険税、保育料、市営住宅使用料などについて、収納体制の見直し、電算システムの統合化、口座振替の促進などのさまざまな手段、対策を講じ、歳入の確保に努める。 |      | 改善プログラム       |         |         |         |
|            |   |      | 14年度          | 15年度    | 16年度    | 17年度以降  |
|            |   |      | 検討・実施         |         |         | →       |
| 改善効果額計(千円) |   |      | 90,000        | 150,000 | 250,000 | 490,000 |

| 担当課        | スポーツ課<br>行政改革・中核市推進課  | 改善項目 | (3)公共施設への有料広告の掲示 |      |      |        |
|------------|---|------|------------------|------|------|--------|
| 改善内容       | スポーツ施設等公共施設に有料広告を掲示することにより、広告料収入を得ることを検討する。<br>・広告掲示施設等の検討<br>・広告掲示者の需要見込調査<br>・費用対効果(設置費・収入額)の検討 |      | 改善プログラム          |      |      |        |
|            |   |      | 14年度             | 15年度 | 16年度 | 17年度以降 |
|            |   |      | 検討               | 実施   |      |        |
| 改善効果額計(千円) |   |      |                  |      |      |        |

## 7. 分権の推進

| 担当課        | 企画政策課   | 改善項目 | (1)地方分権の推進 |      |      |        |
|------------|---|------|------------|------|------|--------|
| 改善内容       | 地方分権推進会議による地方分権推進のための調査・研究、国県の動向の把握など取組みを行う。<br>また、庁内分権や都市内分権の推進に努める。 |      | 改善プログラム    |      |      |        |
|            |   |      | 14年度       | 15年度 | 16年度 | 17年度以降 |
|            |   |      | 推進         |      |      | →      |
| 改善効果額計(千円) |   |      |            |      |      |        |

|      |  |                       |                                 |      |        |  |
|------|--|-----------------------|---------------------------------|------|--------|--|
| 担当課  | 企画政策課  | 改善項目                  | (2) 市政調査専門員制度の見直し等による政策形成機能の再構築 |      |        |  |
| 改善内容 | 市政調査専門員の見直し(職員参加による調査研究システムの構築)や政策アドバイザー制度の拡充(制度周知に加え、短期契約や一時的な派遣など柔軟な活用方策の実施)を行い、政策形成機能の再構築を図る。 | 改善プログラム               |                                 |      |        |  |
|      |  | 14年度                  | 15年度                            | 16年度 | 17年度以降 |  |
|      |  | 制度見直し<br>政策形成機能の調査・研究 | 実施                              |      |        |  |
|      |  | 改善効果額計(千円)            |                                 |      |        |  |

|      |   |            |                  |      |        |  |
|------|---|------------|------------------|------|--------|--|
| 担当課  | 企画政策課・職員研修室   | 改善項目       | (3) 政策形成能力向上策の推進 |      |        |  |
| 改善内容 | 地方分権を推進するため、政策形成能力を向上する諸方策について検討し、実施する。<br>・自治体政策研究機関の創設の検討<br>・政策提案制度の導入検討<br>・政策形成能力向上のための研修体系の充実など | 改善プログラム    |                  |      |        |  |
|      |   | 14年度       | 15年度             | 16年度 | 17年度以降 |  |
|      |   | 検討         | 順次実施             |      | ▶      |  |
|      |   | 改善効果額計(千円) |                  |      |        |  |

|      |  |            |                |      |        |  |
|------|--|------------|----------------|------|--------|--|
| 担当課  | 事務管理課  | 改善項目       | (4) 職員提案制度の見直し |      |        |  |
| 改善内容 | 従来、提案のみにとどまっていた職員提案制度を、小集団活動などの手法も参考としつつ、自らの業務の改善実施型を中心とした、職場単位の改善活動に転換する。 | 改善プログラム    |                |      |        |  |
|      |  | 14年度       | 15年度           | 16年度 | 17年度以降 |  |
|      |  | 調査・検討      | 実施             |      |        |  |
|      |  | 改善効果額計(千円) |                |      |        |  |

|      |   |            |                  |      |        |  |
|------|---|------------|------------------|------|--------|--|
| 担当課  | 各課  | 改善項目       | (5) 独自条例による施策の展開 |      |        |  |
| 改善内容 | 個性豊かなまちづくりを推進するため、政策法務体制を整備し、職員の政策法務能力の向上を図り、独自条例による施策の展開を図る。<br>・条例の体系化<br>・屋外広告物条例、宅地開発条例の制定<br>・自治基本条例、まちづくり条例、行政評価条例、消費者保護条例などの検討 | 改善プログラム    |                  |      |        |  |
|      |   | 14年度       | 15年度             | 16年度 | 17年度以降 |  |
|      |   | 順次実施       |                  | ▶    |        |  |
|      |   | 改善効果額計(千円) |                  |      |        |  |

# 参 考 资 料

(参考資料)

## これまでの行政改革の取り組み

相模原市行政改革大綱(平成7年12月15日策定)に基づく行政改革の実施状況

\* 65の改善項目のうち、55項目(84.6%)が実施済みまたは方針決定

\* 平成8~10年度の節減効果額 3,447,213千円

《改善が行われた主な項目》…〔 〕は主管課(当時)

青少年活動の推進体制の整備(青少年学習センターの設置)[青少年課]

行政事務情報化推進計画の策定〔電算システム課〕

OA化の推進

戸籍オンラインシステムの稼働〔戸籍住民課〕、税総合情報管理システム〔税制課〕、地理情報システム〔都市計

画課〕、職員総合情報システム〔職員課〕、消防情報管理システム〔指令課〕

ごみ収集用袋等の透明化、祝日収集の実施〔清掃総務課〕

地域防災計画、自主防災組織の見直し〔防災対策室・防災課〕

計画策定における市民参加の推進

総合計画〔企画調整課〕、マスタープラン〔都市計画課〕

審議会のあり方の見直し〔各課〕

広聴広報機能強化〔市民相談室・広報課〕

使用料・手数料の見直し〔各課〕

補助金の見直し基準の策定〔財務課〕

市民会館の管理運営委託の実施〔市民会館〕

移動図書館の廃止〔図書館〕

会議運営基準(庁内会議改善マニュアル)の策定〔事務管理課〕

定員管理計画の策定〔事務管理課〕

人件費等の節減(時間外勤務の抑制など)[職員課]

青年の家の廃止〔青年の家〕

等

## 新相模原市行政改革大綱（平成10年12月1日策定）に基づく行政改革の実施状況

\* 実施プログラムに対する取組み状況は、98項目134件の改善項目のうち、123件（91.8%）が、完了または予定通り進捗している。（平成13年度決算見込み）

\* 数値目標の達成状況

50億円の改善効果を目指す。（平成11年度から平成13年度まで）（単位：千円）

| 11年度      | 12年度      | 13年度見込み   | 合計        |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 2,933,655 | 2,954,976 | 1,474,450 | 7,363,081 |

職員1人当たりの市民数を150人以上とする。（平成15年度までに）（単位：人）

| 10年度  | 11年度  | 12年度  | 13年度  | 15年度予定  |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 143.3 | 144.7 | 143.4 | 146.2 | 150.0以上 |

市債発行額を各年度100億円以内に抑制する。（平成11年度から平成13年度まで）  
（単位：百万円）

| 11年度決算 | 12年度決算 | 13年度（当初予算） |
|--------|--------|------------|
| 9,072  | 7,978  | 8,812      |

《改善が行われた主な項目》・・・〔 〕は主管課（当時）

市勢映画の廃止〔広聴広報課〕

納入済通知書の廃止〔会計課〕

全期前納報奨金の見直し〔納税課〕

敬老金支給事業、敬老訪問事業の見直し〔高齢者福祉課〕

ISO14001の認証取得〔ISO推進室〕

はたちのつどいの見直し〔青少年課〕

交通共済事業の廃止〔交通安全課〕

あじさい会館管理運営の委託〔保健福祉総務課〕

介助業務の見直し（退職者不補充の実施）〔教育総務課〕

ごみ収集・運搬業務の見直し（配車基準、職員配置の見直し）〔清掃総務課〕

給食調理業務の見直し（非常勤職員化）〔教育総務課・学校保健課〕

スポーツ・レクリエーション施設等の通年開館の実施〔行政改革推進課・各課〕

使用料・手数料の見直し〔各課〕

運営費等補助金の見直し〔行政改革推進課・各課〕

組織・機構の簡素化・合理化〔事務管理課〕

人事・給与制度の見直し（特殊勤務手当の見直し、時間外勤務の抑制、旅費制度の見直し、期末手当の削減、管理職手当の削減、早期退職制度の導入など）〔職員課〕

高相地区農業共済事務組合の見直し〔農政課〕

食肉公社のあり方の検討〔農政課〕

公共工事コスト縮減〔契約課・下水道計画課・工事担当課〕

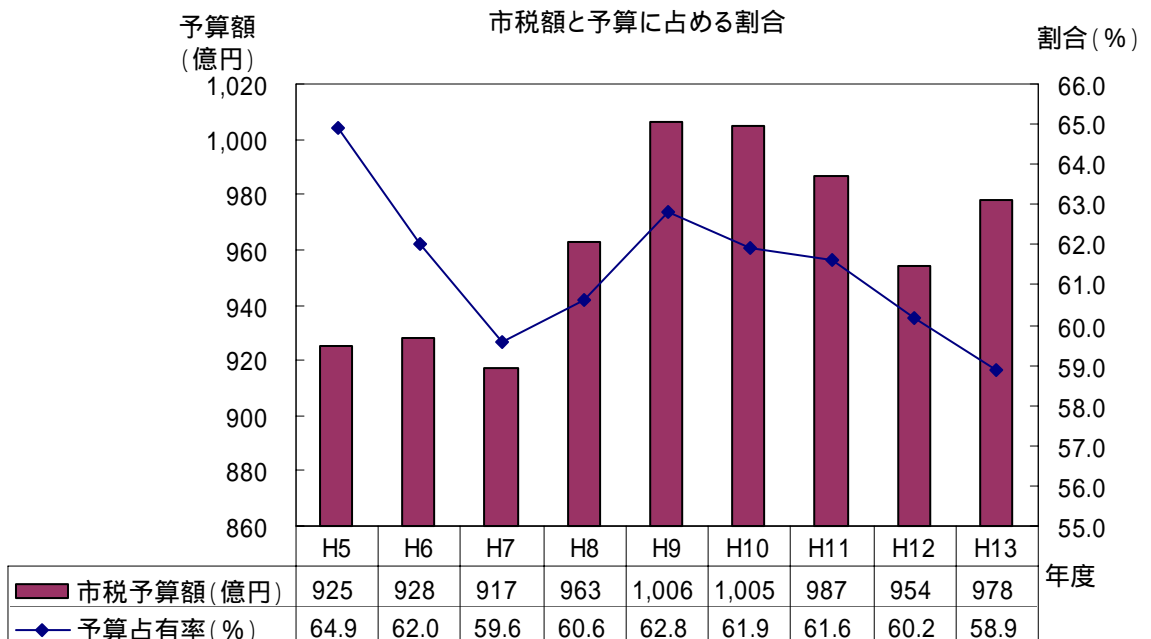
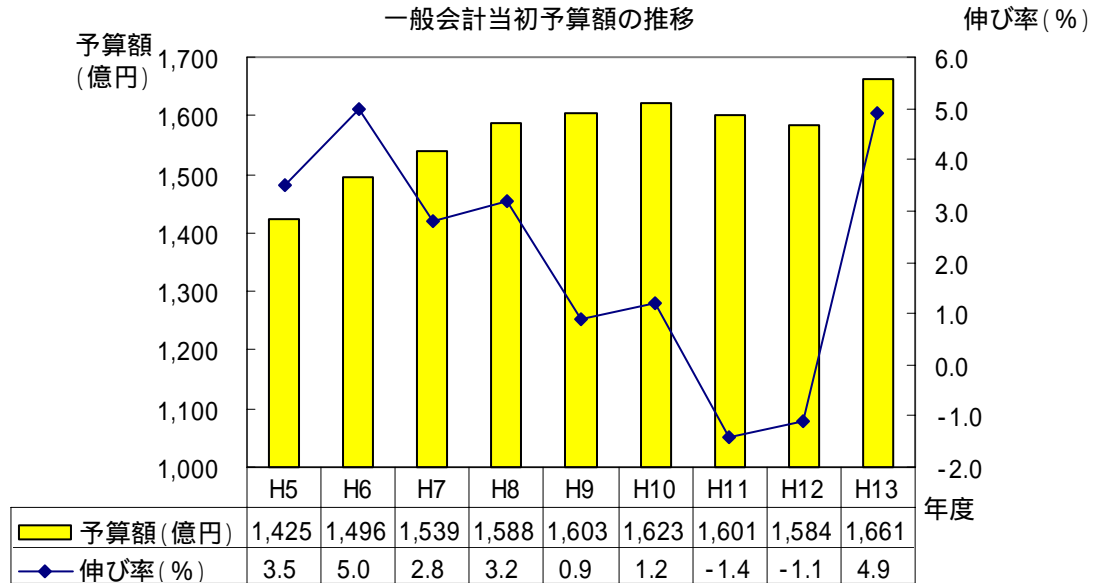
等

(参考資料)

## 厳しさを増す財政状況

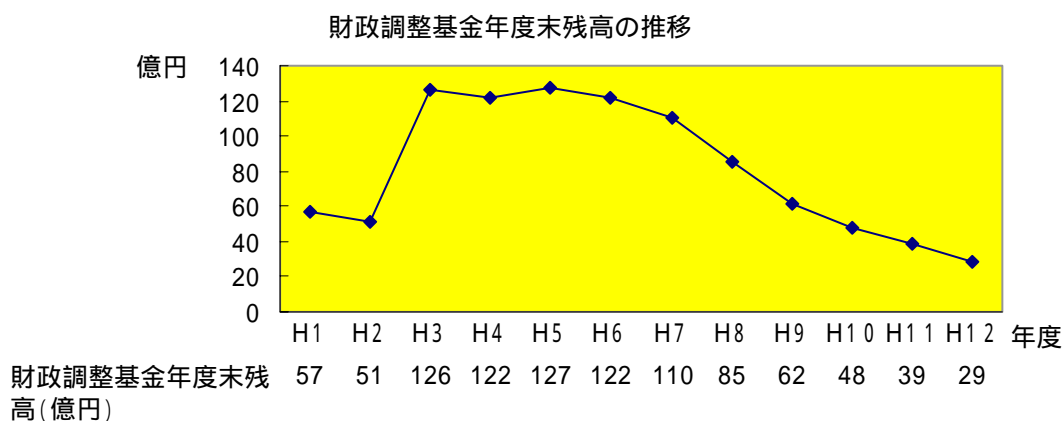
### 当初予算に占める税収は引き続きマイナス

人口の増加などにより拡大を続けてきた予算規模も、ここ数年は伸びが鈍化し、平成11年度当初予算は、市制施行以来初めて対前年度比でマイナスとなり、平成12年度も2年連続で対前年度比マイナスとなりました。平成13年度は再び拡大に転じましたが、予算に占める市税の割合は減少傾向にあります。



## 減少する市の貯金

年度間の財源の不均衡を調整し、安定した財政運営を行うための市の貯金にあたる財政調整基金は、平成5年度の約127億円をピークに減少に転じ、平成12年度末の残高は、約29億円となっています。



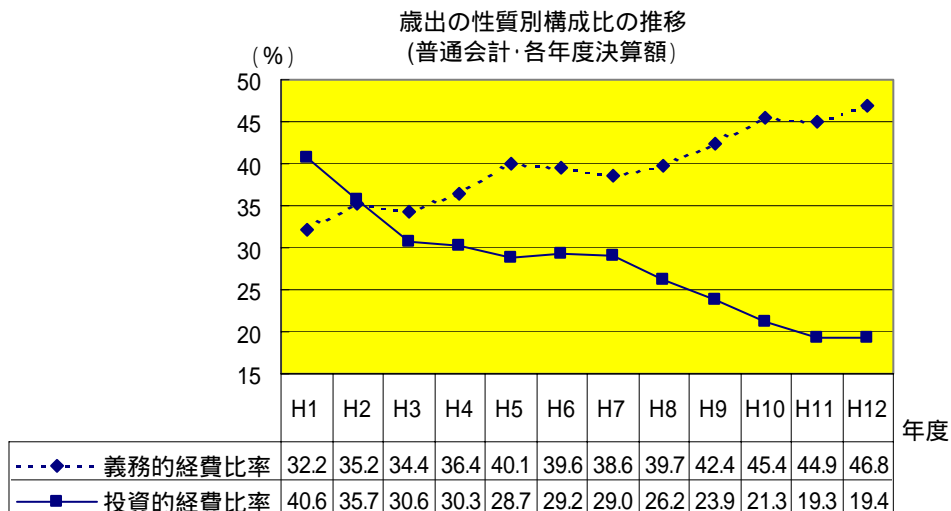
## 義務的経費

法令あるいはその性質上支出が義務づけられている「人件費、扶助費、公債費」の合計をいい、その歳出総額に占める割合（義務的経費比率）が高いほど、財政の硬直化が進んでいることを示します。平成12年度決算額では46.8%で、平成元年度に比較すると14.6ポイントも増加しています。各種削減の努力をしていますが、わずかながら増加しています。

## 投資的経費

公共施設などのストックとして将来に残るものに支出される経費をいい、その歳出総額に占める割合（投資的経費比率）が高くなることは、歳出の自由度が増すことを示します。平成12年度決算額では19.4%で、平成元年度と比較して21.2ポイントも割合が低下しています。平成11年度以降は投資的経費が10%台となりました。





### 公債費負担比率の推移

公債費（借り入れた地方債の元金の償還及び利子の支払いに要する経費）に充当された一般財源が、一般財源総額に占める割合を公債費負担比率といいます。この数値が大きくなるほど、財政の硬直化が進んでいることを示します。

